

平成28年11月16日

報道機関各位

日本液炭株式会社

「液化炭酸ガス」ならびに「ドライアイス」の価格改定（値上げ）について

日本液炭株式会社（社長：賢持善英）では、「液化炭酸ガス」ならびに「ドライアイス」の納入価格につきまして、下記の通り改定（値上げ）させていただく事といたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 価格改定となる製品；

- ① 液化炭酸ガス ローリーならびにシリンダー・LGC
- ② ドライアイス
- ③ 炭酸ガスを成分として含む混合ガス

2. 価格改定の幅；

現行価格の20%

3. 価格改定の時期；

平成29年4月出荷分から実施

4. 価格改定の経緯（背景）；

当社が製造する液化炭酸ガス・ドライアイスは、製油所やアンモニア製造工場の副生ガスを原料としておりますが、第一次エネルギー供給構造高度化法による製油所の閉鎖や海外への生産シフトによるアンモニア工場の閉鎖等により、2012年以降、業界全体で6箇所の液化炭酸ガス製造工場の閉鎖が余儀なくされました。この状況に対し当社は、広域調達と長距離配送により安定供給体制を維持して参りました。

しかしながら、ガソリン・軽油の需要低迷による製油所の稼働低下やアンモニア事業の縮小傾向は留まることを知らず、現存する国内の液化炭酸ガス製造工場に供給される原料炭酸ガス量も年々減少しています。その結果、国内工場製品だけでは需給バランスを維持することが出来ず、慢性的に韓国からドライアイスを輸入することにより、液化炭酸ガス・ドライアイスの需要家様への安定供給を維持しております。

この状況を打開するため当社では、宇部興産(株)・藤曲工場、(株)日本触媒・浮島工場に続く拠点整備計画として、約50億円を投じて三菱化学(株)・水島事業所内での炭酸ガス工場新設工事（平成29年10月稼働予定）を進めておりますが、来春には第二次エネルギー供給構造高度化法による石油精製業界の再編等が予想され、中長期的な安定供給体制を維持するためには、更なる投資が必要となります。

このような状況により、安定供給体制を維持するための投資コスト及び運賃コストの更なる増大は、当社の自助努力で吸収可能な範囲を大きく超える事態に至りましたので、需要家の皆様の一部ご負担をお願いせざるを得ないと判断いたしました。

以上

～ お問い合わせ先 ～

炭酸事業本部 炭酸営業統括部

(代表電話番号) 03-6722-2251

- ・ 液化炭酸ガス関連；炭酸ガス営業部 部長 佐藤
- ・ ドライアイス関連；ドライアイス営業部 部長 園田